

10月12日(木)

4・5年生 防災体験学習

山口県防災危機管理課から3名の方を講師にお迎えして、防災体験学習を行いました。



- 災害とは
台風や洪水、地震などによって家が壊れたり、けがをしたりすることです。近年、山口県で起きた災害の事例を紹介していただきました。
災害は、決して他人事ではないことを実感しました。



ARゴーグルを使って浸水を体験してみよう

- ①50cmの水につかったらどうなる？
- ②水につかったまま移動してみよう。
- ③木が流れてきたら？



VRゴーグルを使って地震を体験してみよう

- ①大地震が起きたらどうなる？
- ②大地震がおきたらどうする。



高潮ハザードマップをもとに、学校や自宅、通学路の危険性を確認しました。災害に備えて、「避難カード」を作成しておくことよいことを教えていただきました。

最後に、覚えてほしいこととして、3つのことをお話されました。

- ①命を守るために、危険なところから安全なところに逃げる。
- ②危険になる前に、早めに逃げる。
- ③家族や近所の人と一緒に逃げる。